

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-108	Year Month Day Time 2008 年 5 月 4 日 13 : 30
場所 Place	能代市総合体育館



チームA <b>春日部</b> 65 ●	7 1st 20 15 2nd 16 15 3rd 17 28 4th 22 OT	チームB <b>新潟商</b> 75 ○
----------------------------	---	----------------------------

主審:Referee  
上田 信彦 岩手県  
副審:Umpire  
小川 裕之 秋田県

テーブル・オフィシャル:Table officials  
能代高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4		摩庭 大河	CAP	-	-	-	-	0	4	×	榎坂 健人	CAP	14	2	3	2	4
5	×	清水 隆亮		24	0	11	2	5	5	×	近藤 大		9	0	4	1	4
6	×	新田 華武伊		10	0	4	2	2	6	×	山崎 将也		18	2	6	0	1
7	×	藤森 康平		6	0	2	2	5	7	/	五十嵐 良心		4	0	1	2	0
8	/	川崎 裕介		0	0	0	0	0	8	×	小野寺 弘晃		0	0	0	0	1
9		富澤 佑也		-	-	-	-	0	9	/	田村 亮		8	0	4	0	0
10	/	境 一樹		4	1	0	1	2	10		小林 裕太郎		-	-	-	-	0
11		高葉 龍		-	-	-	-	0	11	/	中村 博		2	0	0	2	0
12	/	池澤 舜		0	0	0	0	0	12	×	新保 寛人		16	2	5	0	1
13		渡辺 隼人		-	-	-	-	0	13	/	佐藤 寛人		0	0	0	0	0
14	/	小原 佑真		0	0	0	0	1	14		亀山 亮		-	-	-	-	0
15		田中 颯		-	-	-	-	0	15		萩野 晃平		-	-	-	-	0
16	×	倉林 紀和		13	3	2	0	3	16	/	岩淵 俊紀		2	0	1	0	2
17	×	時野谷 勝幸		8	1	2	1	1	17		安保 睦		-	-	-	-	0
18	/	秋元 政彦		0	0	0	0	0	18	/	村越 俊紀		2	0	1	0	4
コーチ		伊澤 暁							コーチ		中屋 廣昭						
アコチ		山岸 率							アコチ		丹波 浩之						
合計				65	5	21	8	19	合計				75	6	25	7	17

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

開始早々、新潟商#12新保のスリーポイントが決まるも、互いに相手のマンツーマンディフェンスを攻めあぐねなかなか得点が入らない。春日部は#7藤森が3Pに対するファウルで得たフリースローを決め、開始3分に初得点する。しかし新潟商の粘り強いディフェンスの前になかなかバスが回らず、攻撃のリズムをつかむことができない。一方、新潟商もシュートミスが目立ちなかなかリズムをつかめないものの、中盤以降、#12新保、#6山崎のカットイン、#4榎坂の3Pなどが決まり7-20と新潟商が13点リードを奪って第1Q終了。

第2Qに入り序盤、新潟商は#9田村、#4榎坂がゴール下に切り込み加点。一方、春日部は長身の#5清水、#6新田がポストプレーを試みるが、新潟商のディフェンスが厳しく攻撃も単発に終わってしまう。中盤以降、新潟商は#4榎坂、#5近藤らが思い切りよく3Pを狙うがごとくリングに嫌われ思うように加点することができない。終盤、春日部は#5清水が3連続ゴールを決め追い上げを見せるが、新潟商#4榎坂の3Pが決まり第2Qが終了。前半を終わって22-36と新潟商が14点のリード。

第3Qに入ると、春日部は#5清水、#6新田らを中心にマンツーマンディフェンスがよく機能し始め、新潟商を簡単に攻めさせない。中盤以降、春日部は#5清水のポストプレー、また#16倉林、#17時野谷らの果敢なゴール下への切り込みで、追い上げを見せる。春日部がこのままリズムをつかむか見えしたが、終盤新潟商#18村越、#6山崎のシュートが決まり、37-53と新潟商がリードを保って終了。

第4Q、開始早々春日部は#5清水、#6新田のシュートが決まり再び追い上げを見せる。一方、新潟商も#7五十嵐、#9田村らがシュートを確実に決め、なかなか春日部の追撃を許さない。中盤に入り春日部は#16倉林が3Pを連続して決めるなどして一気に流れを引き寄せ、新潟商に一時4点差まで詰めよる。しかし、ここで新潟商#12新保が落ち着いて3Pを入れ返す。その後も#5近藤、#4榎坂らがゴール下に切れ込み春日部に傾いた流れを再び引き戻し、試合終了。65-75の10点差で新潟商が勝利をものにした。